



2015年4月30日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

ブラジルの政策金利の引き上げについて

ブラジル中央銀行は、現地 2015 年 4 月 29 日の金融政策委員会(COPOM)で、政策金利(Selic)を 12.75%から 13.25%に引き上げることを決定しました。政策金利の引き上げは、2014 年 10 月と 12 月、2015 年 1 月、3 月に続いて 5 会合連続となります。市場でも、政策金利の引き上げ幅は 0.50%と予想されていました。

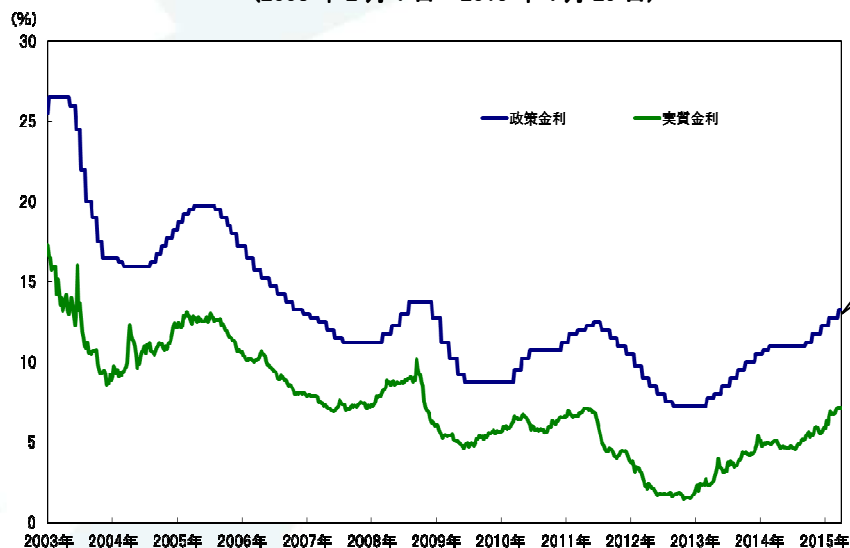
ブラジル中央銀行は声明文の中で、マクロ経済の行方とインフレ見通しを勘案した結果、今回の利上げを全会一致で決定したと前回と同様に説明しています。ブラジル中央銀行は 2016 年末までにインフレ率を 4.5%まで引き下げる意向を示しており、現在の高いインフレ率の抑制を目指す姿勢が表れたと言えます。

ブラジル地理統計院(IGBE)による 3 月の拡大消費者物価指数(IPCA)の上昇率は前月比でプラス 1.32%でした。前年同月比ではプラス 8.13%と 2 月の同プラス 7.70%を大きく上回り、ブラジル中央銀行が目標とするインフレ率の中央値(4.5%)も大きく超過しています。年初来のインフレ率上昇は、リアル安に加えて、電気・燃料などの政府統制価格の上昇が背景となっています。

一方、ブラジルの国内景気は低迷が続いています。4 月 28 日にブラジル地理統計院が発表した 3 月の失業率は 2 月の 5.9%から 6.2%に悪化しており、依然として景気回復の兆しが見えていません。

金融市場では 0.50%の利上げを事前に見込んでいたことから、ブラジル株式や債券価格への影響は限定的と予想しています。為替市場でも、利上げは既に織り込み済みで、4 月 30 日早朝の東京時間のリアル相場も落ち着いた推移となっています。

＜ブラジル政策金利と実質金利の推移＞
(2003年2月1日～2015年4月29日)



2015年4月29日
12.75%→13.25%へ
0.50%の引き上げ

*政策金利：Selic を使用 *実質金利：名目金利とインフレ率を使用し算出 (データ出所：ブラジル中央銀行)

■本資料は BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。■本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。■本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。